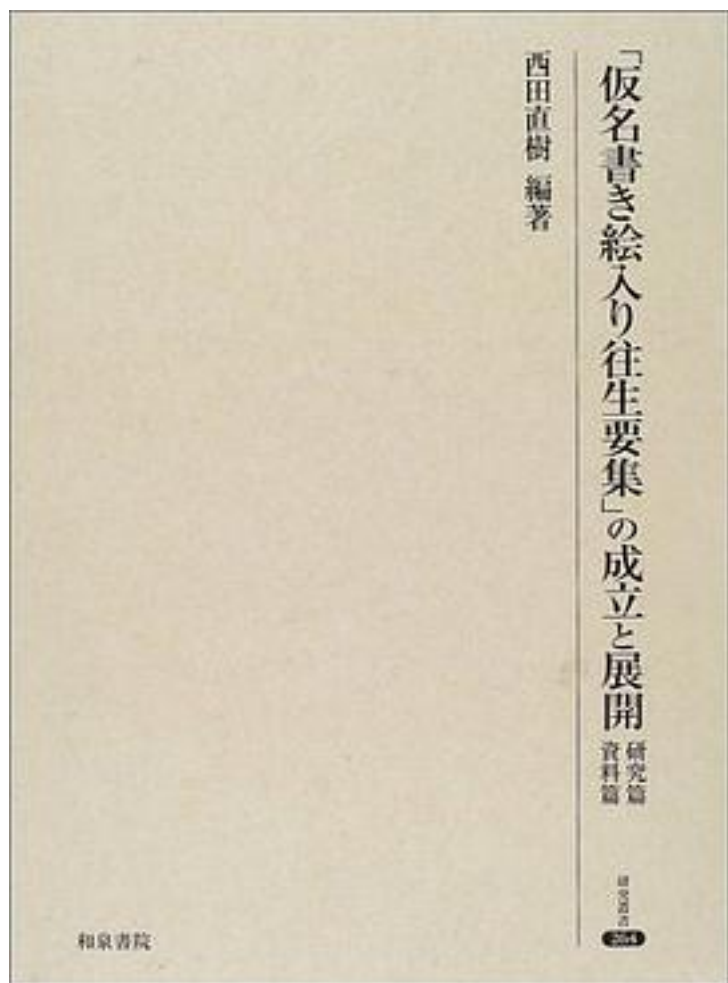


「仮名書き絵入り往生要集」の成立と展開（研究篇・資料篇）



[「仮名書き絵入り往生要集」の成立と展開（研究篇・資料篇）_下载链接1](#)

著者:西田直樹

出版者:和泉書院

出版时间:2001/05

装帧:

isbn:9784757600850

「仮名書き絵入り往生要集」とは、江戸時代初期の『往生要集絵巻』と、江戸時代に刊行された同様の仮名書き絵入り版本の総称である。

源信が著した『往生要集』は、日本人の地獄思想を体系化し、往生極楽の扉を指し示した。中でも、漢文の本文を漢字仮名交じり文に書き改めて挿絵を加えた「仮名書き絵入り往生要集」は、最も広い階層に読まれた『往生要集』である。これらは、説教台本や仮名草子としても読まれ、日本人の思想や文化に多大な影響を与えてきた。

研究篇にて「仮名書き往生要集」の成立から「仮名書き絵入り往生要集」への展開に至る全貌を初めて明らかにし、翻刻篇には『往生要集絵巻』詞書などを収め、影印篇には希観本を含む「仮名書き絵入り往生要集」五本と『極楽物語』二本を収載した。

なお、当初収録予定であった『絵入り往生要集』（古版）〔影印・翻刻〕は、諸般の都合により収録を見合せたことをお断りしておく。

作者介绍:

目录:

[「仮名書き絵入り往生要集」の成立と展開（研究篇・資料篇）_ダウンロード1](#)

标签

评论

[「仮名書き絵入り往生要集」の成立と展開（研究篇・資料篇）_ダウンロード1](#)

书评

[「仮名書き絵入り往生要集」の成立と展開（研究篇・資料篇）_ダウンロード1](#)